

# 領域開拓プログラム(課題設定型研究テーマ)

- ◆課題(研究領域):「メディアの発達によるソーシャル・キャピタルの変質」
- ◆研究テーマ:「リスク社会におけるメディアの発達と公共性の構造転換～ネットワーク・モデルの比較行動学に基づく理論・実証・シミュレーション分析」

研究期間:H26.10～H29.9  
委託費総額:30,000千円

## <研究代表者>

遠藤薫:学習院大学法学部/教授



### <専門分野>

理論社会学 情報社会学 シミュレーション

### <Webページ>

<http://www.kaoruendo.com>

## <研究目的・概要>

・リスク社会といわれる現代、社会のレジリエンシー(回復力)を高めるには、豊かなソーシャル・キャピタル形成が不可欠である。メディアの発達と公共性再構築の可能性を探ることは喫緊の課題である。

重層的メディア環境における<公共性>のあり方を、社会学・経済学・情報学の連携のもと、理論構築と、蓄積された膨大なデータの分析、シミュレーションにより明らかにする。

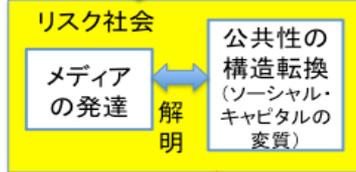
- ・メディアを通じた健全なソーシャル・キャピタル(社会関係資本)形成を可能にする実証研究と理論構築とを行う。
- ・社会調査やビッグデータを活用した新しい解析を行う。
- ・シミュレーションによるビジュアルな成果報告を展開する

メディアを介した公共性構築のダイナミズムを明らかにすることで、学術はもとより豊かな社会づくりに貢献する。

## <研究計画の特徴>

社会学・経済学・情報学

文理を超えた分野連携



- \*社会理論
- \*社会調査・ビッグデータ
- \*エージェント・ベース・シミュレーション

方法論連携

国際連携

- 国際学会での研究交流
- 国際シンポジウムの開催
- 国際学術誌への成果掲載

## <目標とする研究成果>

(1)メディア社会における公共性のあり方とソーシャル・キャピタル形成のメカニズムを解明する。

メディアの発達

対面コミュニティ  
グローバル・マスメディア  
ソーシャル・メディア  
モバイルメディア

どう変化するか?

民主主義(公共性)  
社会的紐帯(ソーシャル・キャピタル)  
社会福祉  
リスクへの対応

(2)現代の様々なリスクに負けないレジリエントな社会づくりに関する知見を示す

多様なリスク

自然災害/疫病  
/情報リスク  
/テロリズム...

どうすればよいか提案

予防力・回復力の向上をめざして

健全なガバナンスの構成  
地域コミュニティの活性化  
社会の絆の柔軟化